

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和02年12月14日

計画の名称	大津市公共下水道事業 - 湖都大津の良好な水環境の形成(第三期)												
計画の期間	令和 0 3 年度 ~ 令和 0 7 年度 (5年間)									重点配分対象の該当			
交付対象	大津市												
計画の目標	琵琶湖の恵みを受け発展してきた「湖都」大津において、琵琶湖の水環境の保全を図り、安全・安心な水環境の創造と良好な下水道サービスの継続性確保のため、下水道施設の構築を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）	310	A	310	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	下水道処理人口普及率を98.6%(R3当初)から98.8%(R7末)とする。			
	下水道処理人口普及率(%)	99%	99%	99%
	下水道を利用できる人口 / 行政区域内人口：343,550人(R2当初) (普及人口 + 整備による普及人口) / 住基人口)			
2	瀬田浦クリーク水質浄化事業による植生帯の整備率を42%(R3当初)から42%(R7末)とする。			
	植生浄化施設整備率(%)	42%	42%	42%
	植生帯整備面積(m ²) / 全体計画整備面積(m ²)：2,250m ²			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	○	地域再生計画を含む	-
下水道処理人口普及率は、当初目標値98.6%、中間目標値98.7%、最終目標値98.8%。瀬田浦クリーク水質浄化事業による植生浄化施設整備率は、当初目標値42.0%、中間目標値42.0%、最終目標値42.0、R8末に100%とする。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大津市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	大津 / 藤尾処理区(単公) 污水管の整備	污水管渠整備 L=0.1km	大津市	■	■	■	■	■	7	-	-
	A07-002	下水道	一般	大津市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	湖南中部処理区関連(流関) 污水管の整備	污水管渠整備 L=0.3km、ポ ンプ場増設	大津市	■	■	■	■	■	28	-	-
	A07-003	下水道	一般	大津市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	湖西処理区関連(流関) 污水管の整備	污水管渠整備 L=6.2km	大津市	■	■	■	■	■	143	-	-
	A07-004	下水道	一般	大津市	直接	-	-	新設	瀬田浦クリーク水質浄化 事業	浄化施設 L=0.6km	大津市	■	■	■	■	■	132	-	-
		新世代																	
											小計						310		
										合計						310			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05	R06	R07
配分額 (a)	50	6	7	7	17
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	50	6	7	7	17
前年度からの繰越額 (d)	55	21	3	7	0
支払済額 (e)	84	24	3	14	17
翌年度繰越額 (f)	21	3	7	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 大津市公共下水道事業 - 湖都大津の良好な水環境の形成(第三期)

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針（污水处理施設整備構想、流総計画等）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画（事業認可等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地元情勢の変化を踏まえている。	○
I. 目標の妥当性 社会経済情勢を捉え、適正な計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 費用対効果について十分に効果がある。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 供用開始区域の接続率の向上が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 地元住民の同意や要望がある。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施のための環境整備が図られている。	○

計画の名称	大津市公共下水道事業－湖都大津の良好な水環境の形成（第三期）		
計画の期間	令和3年度 ～ 令和7年度（5年間）	交付対象	滋賀県 大津市

